

## 平成20年度事業報告書

特定非営利活動法人ゆったりNPO

### 1 宅老事業の取り組みについて

#### (1) 事業全般

##### 意識してきた理念や考え方

ノーマライゼーションの理念もと高齢者や障害者が安心して暮らせるよう「支え合い・助け合う」町づくりを目指す。

「デイホームゆったり」が地域の高齢者達の拠り所になれる施設づくりを目指す。

高齢者が何時までも元気に地域で安心して暮らせるよう「閉じこもり予防・病氣予防・認知症予防」に取り組む。

##### 取り組みの実際と効果

同じ理念を持って活動を行っている「アテラーノ旭」や地域で高知市から入浴デイサービスの委託を受けて活動している「旭の銭湯を存続させる会」や地域で健康を守る活動をしている「旭診療所」に呼びかけて「第一回 旭の年忘れ懇親会」を行い、地域で支えあい助け合う横の連携を軸にした旭地域の親睦と繋がりを深める事が出来た。

#### (2) 趣味活動

##### 意識してきた理念や考え方（各種教室や催しなど）

生きがい作りと健康のためのカラオケ、俳句、コーラス、文章教室、いきいき百歳体操、健康チェック等の講座の他、新たに健康マージャンを取り入れ、楽しみながら脳を活性化させる取り組みを目指した。又、利用者主体の行事や、四季折々の行楽の機会を作り利用者さんが主体になれるよう心掛けた。

##### 取り組みの実際と効果

講座仲間の繋がりが、家を行き来する友達関係までに発展し、交流を深めている人達も増えています。体調不良の人「ゆたりに来たら元気になる」と喜んでくれます。

「家族と出かける機会も無いし、気の合う仲間と出かけるのを楽しみ」と外出の要望も多く、特に行楽に出かける時は、安全確認の卜見や、不慮の事故に備えての配慮等大変ですが出来るだけ応えるようにしました。これらの取り組みが生活の質の向上に役立っていると思う。

#### (3) 地域との交流

##### 意識してきた理念や考え方（地域住民との交流など）

高齢者を支えるには施設が単独に存在するのではなく、地域社会で支えあう仕組みを作る必要があるとの考え方の下に、ゆるやかな地域のネットワークを呼びかけて出来た「アテラーノ旭」が、高齢者の生きがいの場として、地域のお茶の間として活動を始め、ゆたりにも連携して運営の一端を担っている。

アテラーノ旭からは、利用者さんをゆったりで紹介してもらったり、こちらから高齢者の方への食事を紹介したり、双方が地域で高齢者の方を支えあう視点を持って連携を進めている。

#### 取り組みの実際の効果

アテラーノ旭が出来たことにより、地域で寄り合える場が同じ旭に出来、食事やお茶を楽しみにする人、趣味の作品を展示したり、趣味の小物を作り販売する事に生きがいを見つけ出した人もいます。地域で助け合い支えあう第一歩の活動の始まりだと思ふ。

#### **(4) 地域高齢者支援センター各出張所などとの連携**

##### 取り組みの実際と効果（民生委員、地区社協、福祉施設等具体的な機関名も記入）

高齢者支援センター等からの問い合わせや紹介があつて、見学や体験があり、何人かの人がゆったりを利用するようになった。

近所の高齢者の方の一人暮らしについて、どう支えるかを担当機関に連絡をとり、民生委員さんや介護事業所との手立てを打ち合わせをしたケースがある。

### **2、利用者への取り組みについて**

#### (1) 意識してきた理念や考え方（現利用者・利用休止している方・未利用者への配慮）

高齢者が何時までも元気に地域で豊かにくらすよう「閉じこもり予防・病氣予認知症予防」に意識した取り組みを行う。その為の趣味の講座や、誕生日会等の行事、四季折々の行楽などを企画・実施する。

利用休止している方々にはなるだけ連絡をとり、状況の把握に努めている。

利用者の皆さんに、地域の未利用の方や友達等を誘ってもらうに御願いをしている。

#### (2) 取り組みの実際と効果（意識して取り組んだ内容）

毎週の講座を通して、仲間同士の繋がりができ、日常でもお付き合いする友達関係に発展し、楽しめている様子です。体調不良の人も仲間に励まされて「ゆったりに来たら元気になる」と喜んでくれます。

誕生日会 回 行楽には花見・イオンへの買い物、「旭大好き年忘れ懇親会」等を行った。安全面での下見や、不慮の事故に備えての配慮等大変ですが「家族と出かける機会も無いし、気の合う仲間と出かけるのが楽しみ」と要望も多く、出来るだけ応えるようにしています。これらの取り組みが生活の質の向上に役立っていると思う。

### **3、ボランティアとの関わり**

#### (1) ボランティアへの関わりや考え方

ゆったりNPOの会員さんや地域の方をお願いする事もあるが、日常の清掃や、実務の手伝いなどを、二人の軽度障害者の若者に協力してもらっている。又利用者の方にも持てる技術や資格を生かしたボランティアをお願いしをしている。

#### (2) 実際の活動状況と成果

ボランティアでコーラスの講師を引き受け、生きがいにしてくれている利用者さんもいる。地域の料理上手の利用者さんが毎週食事会の料理を引き受けてくれている生き

がいにしてもらっている。若いボランティアの人には、お年寄りに感謝をされ多少だが、人件費も払っており、励みになっていると思う。

#### 4. 視察・研修について

##### 受け入れ状況と感想

今年度には特にありません。

#### 5. 利用料・昼食代・入浴料について

趣味の生きがい講座を利用する場合は 200 円の利用料が要ります。

その他行事等の場合は参加費と必要経費の実費負担が必要です。

カラオケ利用の場合は 300 円（通信カラオケ利用料）が必要です。

昼食代は 400 円です。

#### 6. 受託法人との連携・連絡体制など

ゆったりNPOの会員さんには定期的にニュースを発行し宅老所の取り組みについて報告を行っている。行事を行う時には会員の方に、必要に応じて応援を御願する事がある。

#### 7. 課題

1. 宅老所は元気な高齢者にとって友達を作ったり、生きがいを見つける場としては十分な力を発揮出来ていると思うが、一度介護を受け始めた方々には対応できる体制は十分ではないと思う。

高齢者が地域社会で独りでも安心して暮らせるよう、地域の力が必要だと思う。その為にも介護保険だけでは賅えない、その隙間をサポートできる仕組みや日常生活困りごとに対応できる手助けセンターの立ち上げが必要だと思う。ゆったりNPOから呼びかけて実現した緩やかなネットワークによるアテラーノ旭の活動を支えながら、旭に手助けセンターを立ち上げるべく、今後ともネットワークの活動への参加も必要な課題だと思う。